

# 政新会

## 行政視察報告書

### ◇指宿市

#### 【NOP 法人指宿観光&体験の会 市民協働の観光施策の取組について】

□令和4年10月17日（月） 15:00~16:30

□NPO 法人指宿観光&体験の会

□今柳田理事長 下吉総務部長

#### 【視察目的】

NPO 法人として、どのように市の観光を担っているのか、その活動方法を伺って来ました。

#### 【視察内容】

- (1) NPO 法人設立の背景及び事業内容について
- (2) 観光資源としての指宿温泉について
  - ・日本有数の温泉という名声を維持するための取組
  - ・温泉と指宿の魅力を紐づけた取組について
- (3) 今後の新たな企画・取組について

#### 【質疑応答】

Q この施設に対する市民の認知度はどのくらいあるのか。

A お子さんがいる保護者の方たちにはかなり認知されていると思う。  
市報を公民館などに配布しているので、そのから情報を得ている方たちもいる。

Q スタッフは何人いるのか。その人達はどのような人で、どのような資格がある人なのか。

A 主に保育士の方、その資格を持っている方が多い。

Q 施設内に食事をする場所があったが、食事は提供するのか。

A 場所のみの提供で、食事自体は各自で持参してもらっている。

# 政新会

## 行政視察報告書

### ◇南九州市

#### 【移住定住促進事業について】

- 令和4年10月18日(火) 10:00~11:30
- 南九州市役所
- 東企画課長 上村企画係長 菊永主任主事

#### 【視察目的】

移住定住に関してはほとんどの自治体が優先施策として行っている。南九州の地域性や環境により、どのような施策を行っているのかを伺ってきました。

#### 【視察内容】

- 1 事業実施の背景及び事業内容について
- 2 事業実施の効果について
- 3 取りやめた施策の有無について
- 4 今後の新たな施策について

#### 【質疑応答】

Q 「お試し居住」の施策は、武家屋敷を提供するなど積極的だが、どのような背景で決定し、その効果はどうか。

A. 南九州市は鹿児島から車で30分。立地的に就職先は鹿児島市で、住居は南九州市という選択がある。その上で観光スポットとしての武家屋敷を体験してもらい、市の魅力を十分に体感してもらうためにこのような施策が決定された。好評でかなりの申込みがある。体験して移住定住に結びついた例もある。

Q 移住定住の施策のPRはどのようにしているのか。

A 主に市のHP。昨年8月からスタートさせた。その他、スマートフォンでの対応など。

# 政新会

## 行政視察報告書

### ◇西都市

#### 【シティプロモーション事業について】

□令和4年10月19日（水） 10:00～11:30

□西都市役所

□岩切副議長 橋口事務局次長 大西商工観光課長補佐 木村議会事務局

#### 【視察目的】

移住定住の施策はどの自治体も行っているが、西都市の地域性に即した施策はどのようなものか。地域の特性や環境を考慮した移住定住の取組について伺ってきました。

#### 【視察内容】

- (1) 事業実施の背景
- (2) 事業の概要
- (3) 事業の財源について
- (4) 移住者の就業について

#### 【質疑応答】

Q この施策を決定する背景はどのようなことか。

A. 西都市は近年、大幅な転出超過だった。このままでは衰退の一途だった。今は転入超過になった。

Q 就職先などの対応は。

A. 宮崎市とは車で30分なので通勤圏。地元で農家になる助けも充実させている。お店を開く人もいる。

Q. 転入超過になった具体的な施策はどのようなものか。

A. 毎月1回のオンライン定期移住相談を開催している。ほぼ30代。

お試し滞在助成金を交付しているが、今までに20組が体験し、その半分が定住した。

# 視察報告書

政新会 寺内 充

## 1. 鹿児島県指宿市のNOP法人指宿観光&体験の会

市民協働の観光施策の取組みについて。

独自のNPO法人が観光客誘致のために法人役員が資金を出し合い市からの援助を受けず事業している団体です。修学旅行の団体客を楽しませる為に色々な体験をしてもらい思い出に残る旅行にして貰う為に様々な企画をたて将来また指宿市に来てくれる様頑張っている。

我が市も是非とりいれてみたい施策である。

## 2. 鹿児島県南九州市の移住定住促事業について

ふるさと納税を活用して色々な助成金や補助金を出し合って子育て世代に移住して貰う為にやっている施策です。空き家バンクとの連携を取り若い世代の人達が将来居住出来るよう官民一体をなっており組んでいる。土浦市も民間業者ともっと連携を取り事業していくべきである。

## 3. 宮崎県西都市のシティプロモーション事業について

西都市は20~30代の若い人達が移住や定住を検討している住み良い町です。農業中心の市ですが行政が地元の農協さんと将来生計が成り立つように一から指導してくれる。その為若い人達が本当に移住を考えているとの事です。本市も農業後継者不足ですので取り組みを勉強してみるべきである。

## 市民協働の観光施策の取組について

鹿児島県指宿市

行政視察がほぼ3年間行われてきた。推移は  
 不規則、この感涙が落ち着くを見せられた  
 10月に、南九州最大の観光地である指宿市に  
 市民が中心として観光事業を盛り上げるべく  
 活動している。NPO法人指宿観光の役員様と  
 意見交換も行っていました。

理事長は市役所のOBであり、役員(理事)の中には  
 観光協会のOBの方もいらっしゃいます。

指宿といえば、観光立国であるとの認識は  
 以前よりありましたが、近年九州新幹線が  
 鹿児島まで延伸されたことで、さらなる好条件が  
 揃ったという思いでいらっしゃいます。お話の中では  
 全体的な客数はそれほど変わっていないものの、宿舎客数  
 が減少している現状があるとの事でした。

そこで立ち上げたのが、NPO法人指宿観光と併せて  
 でした。

宿泊客数を増やす対策を中心に考え。

名声を維持する為の取り組みや、温泉と指宿の  
魅力を紐づけた取り組みを目的としており。

修学旅行や団体旅行、研修旅行と主なターゲット  
として、体験を通じた観光に変えるのが目的です。

体験という言葉が数多くあり、指宿の雄大な自然を  
体験する企画、物を作る楽しさを体験する企画、

歴史と伝統をつまぐ文化体験をする企画、

指宿の食材や味を通じて料理作りを行う企画と  
多岐にわたっています。

観光<sup>イニ</sup> = 物見旅が今までの常識でありましたが、

価値感が多様化している現在、観光は

新しい発想を変えていかねばならないと

実感しています。

移住定住促進事業について

鹿児島県・南九州市

移住定住目的の活動促進事業について

宮崎県・西都市

南九州市と西都市については、移住定住促進について視察に行かれた。事業目的が同様の事から両方まとめて報告書といわれています。

移住定住促進事業は、全国的に広がり現況、  
工部市には下にも大規模施策のノックアウトがあります。

全国的に「少子高齢化」に伴い、人口の減少が止まらない状況の中で、両市（南九州市・西都市）には下にも大幅な転出超過の現状があります。

移住定住は、若い世代・子育て世代とターゲットに戦略を考へる状況、長く住み続けたいから事が最大の課題であるようです。

両方とも若い世代が移住定住<sup>に対して</sup>に~~して~~どの程度の考へ、要望、不安を持っているかの意識調査を綿密に行っているようです。

常に新住といつてか 知識 考え方がありすか。

希望は、新住後 自身のペースで働ける仕事  
にしたい。自然の多いところで暮らしたい。新しい事  
を始めたい。多量の「若い世代」が新住を  
考えたい。相互不安要素は、

求める収入が得られない。新しい時代 きっかけが  
ない。不安要素がある。

新型コトの流行に伴い、地方の新住を考えた  
若い世代 増加する。

新住者を 求めるものに 考えるのでは。

「 共に歩む人を、 在りて」と  
いう考え方に 変えていく時期 思い出す。

この考え、理念で 施策を講じて いるか  
両市でも ありすか。

(南九州、西九州)

大変 知識にありすか。



## 行政視察報告書

政新会 今野 貴子

### ◆指宿市

#### 【NPO 法人指宿観光&体験の会 市民協働の観光施策の取組みについて】

指宿の観光を活性化するために、自分たちで資金を出し合ってNPO法人を立ち上げた事業の取組みを伺ってきました。

訪問すると対応してくださった三人の方が、心からの温かい笑顔で迎えてくださいました。説明してくださっている最中もずっと笑顔で、そしてとても熱い思いで指宿の観光のために取り組んでいるのが伝わってきました。

市からの援助を受けずに自分たち独自で企画をたて、活動をしています。財政は大丈夫なのだろうか、などということも思ってしまいましたが、市からの縛りがなくやっていけるのがメリットです。と、明るい笑顔で答えられました。「箱物を作るのでなく、おもてなしの心、ホスピタリティを重視している、ということが三人の皆様が発するオーラで理解できます。

地元の人からの発案も受けて、JRが来ると住人が線路沿いで旗を振ることを始めた。これが、とても評判が良かったとのこと。私もテレビで見たことを思い出しました。

これからの企画は「NOと言わない」「指宿を10倍楽しむ」ことを目標にしているとの事。

活性化に関しては多数、視察で勉強させて頂きましたが、その活動が成功するには「熱心な市民・熱心な市職員・熱心な議員」が揃うことがその条件だと感じています。ここでは熱心な市民が十分に揃っていて、この活動が成功するかどうかは、市や議員の熱さがあれば十分に成功するだろうと感じました。土浦でも同じ条件が揃えば、形にしていく力が出来るのではないかと。

熱い議員になれるようにと、三人の方たちの笑顔を拝見しながら改めて思いました。

## 行政視察報告書

政新会 今野 貴子

### ◆南九州市

#### 【移住定住促進事業について】

南九州市も他の自治体を同じように、住宅購入、住宅リフォーム、空き家活用、家賃などの補助金の取組みはしています。他にはないものとして驚いたのは居住体験で提供する家屋が、南九州市の一番の観光地である「武家屋敷庭園」の一軒を提供するとうことでした。

武家屋敷庭園は、江戸時代に作られたもので、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。そのような価値の高い庭園の中の武家屋敷をお試し居住に提供するという破格の施策に驚かされました。

南九州市への移住を考えると、地元には、移住者が就職できるところがあまり期待できない状況が察せられます。しかし鹿児島市へは車で1時間ほどの距離で、通勤できる距離にあります。仕事は鹿児島で、生活は南九州市で、という想定の実業内容です。

南九州市に住んでもらう為には、ここがどれほど良いところなのかのアピールが重要になってくるということだと想像できます。

庭園も視察しましたが、さすが国の重要伝統として選定されるに相応しい別世界の佇まいで、魅入られてしまいました。そして、その中の一軒にお試しで最大15日滞在できるというのは誰でもお試したくなるのではないのでしょうか。

予想通り、予約はかなりいっぱいとのこと。そしてお試し居住を体験した方は、しなかった方たちより、移住する確率が高いとのこと。

移住定住を促進したいという強い思いが、この思い切った事業で感じられます。何かを形にしたい、成し遂げたいという強い思いは、このように思い切ったことも必要だと教えられました。

土浦自身、そして私自身もこのくらいの強い思いを持つことが必要だと教えられた視察でした。

## 行政視察報告書

政新会 今野 貴子

### ◆西都市

#### 【シティプロモーション事業について】

ここでの視察も内容は主に移住定住の取組みについてです。西都市も南九州市と同じく県庁所在地に近く、宮崎市まで車で30分ほどの距離です。南九州市と同じく、職場は宮崎市で住まいは西都市という想定での提案と、地元でも「稼げる西都市」も推し進めており、農業を仕事にできるような取組みに力を入れています。

これなら自分でもすぐに農業ができる、と思えるような手厚いサポートが用意しており、トップ農家による実践研修・ハウスや機械一式のリース、新規就農者が安心して農業ができるハウス団地の建設など、きめ細やかな配慮がなされています。その影響もあり、新たに農業を仕事として移住してくる方たちが、着実に増えています。

他にも西都市で起業してもらうために、宮崎県で最高額の創業補助金を用意するなどこちらの方も手厚いサポートが用意してあります。

お話を伺っていると、農業でも起業でも移住してくる方たちへの温かい対応が、移住者の方たち同士や住民たちとの、とても良い交流関係が生まれていることが伺えます。やはり移住定住を促進するためには、補助金だけではない人間関係もとても大切な要素であると感じました。

地域の特性によって、その地域に出来ることと出来ないことがあるとは思いますが、しかし、なんらかの方法で人間同士の交流というものを、土浦でもできないだろうか。

今回の視察は、そのような思いを喚起させられる、とても熱い、内容の濃い視察でした。